

グトムでの停電

渡辺

ちよ

「ガッ!!」ゴロゴロ!!

「また停電!!」だからか、い中電灯取って!! 私はずけた。グトムでは毎月一日は停電が起きるほど、大雨がふっている。

「停電は電線にかみなりが落ちて切れ、家の電気が、ワイヤーのせつ結露、けいたいを充電するための充電器など、いろいろなものが使えなくなってしまう。」

暑い所だとクーラーがなくなると、停電が終ちるまで、汗だくになりながら、家で過ごすことになる。だから停電中、私はいつもとだけ私たちが電気にたよっているかわかる。でも私は停電が起きたことで、一つ、おとなくな。たことがあ。それはかみなりだ。トナムに来たばかりの時はかみなりの音があるとたびに、布団の中にもぐりこんで、じっと

していた。家にかみなりが落ちないか、心配
だ。たからだ。

だがベトナムになれさせたら、かみなり
は花火の音みたいに聞てきて、まっかり
かみなりがこもなくなつた。

さらに停電の楽しいことは、弟とおばけ屋し
きごっこが出来ることだ。私は布団をかぶっ
ておばけになり、弟が見に来る役だ。弟はこ
の時声を出したから私に近付いて私がかぶっ
ていた布団を取り、私だと言づくも笑い始め

る。

日本に帰って来てからはかみなりが少なくな
り、停電も起つらなくなつた。私の家はオー
ル電化だから、全て電気で動く。日本は停電
が起きにくいからこそオール電化が使える。
不便な事外なくなつた。だが、おばけ屋しきが出
来なくなつた。だがさびしいからわざと電気を
消しておばけ屋しきごっこをやると思ふ。